

# 子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

## つつみ @ 通信



5/16 に開催されたフェアトレード体験ミュージアムオープン祝賀会に出席させていただきました。フェアトレード（公正な貿易）とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、現地の生産者や労働者の生活改善と経済的自立を目指す仕組みです。熊本市がアジア初のフェアトレードシティの認定を受けて15年、熊本地震やコロナ禍による人流の途絶など多くの困難を乗り越えてミュージアムが完成したことに私も感慨深いものがあります。現在は大国の自国ファーストの流れにより持続可能な世界への取組みは危機にあります。未来への責任を最後まで背負って、政治を担って参ります。

### 【2026年5月1日 エコパーク水俣 令和8年度 水俣病犠牲者慰霊式】



毎年5月1日に行われ、全国的に注目される水俣病犠牲者慰霊式に熊本県経済環境常任副委員長として参列させていただきました。式は石原宏高環境大臣を始め、木村熊本県知事や県選出の国会議員、県議会を始めとした多くの地方議員と地元の各世代の関係者の方々が臨席し、厳粛な空気で行われました。

水俣病公式確認から70年、公式確認に至るまで10余年の年月を要し、悲劇の拡大を招いた歴史を人類は正視しなければなりません。さらに患者認定の過程で今も多くの問題を抱えています。企業の責任と、それを御すべき政治の決断の重要性を再認識しつつ、複雑な関係者の方々の心情に接した式典でした。

### 【千葉城町 熊本県伝統工芸館リニューアル】

### 今月の数字



3月にリニューアルした熊本県伝統工芸館へ行ってきました。玄関ではくまモン達がお出迎え。館内は最新の工芸品が展示され、展示品の一部も含めて地域の工芸品を館内で購入できるようになっています。そして、新しいギャラリーや体験コーナーも充実し、非常に「趣味の良い」施設になったと感じました。

エントランスから見上げる熊本城も美しく、熊本に来られる旅行者にも、県民の休日の観光においてもお勧めのスポットです。

#### 水俣病の認定患者数

2,284人 (R6年12月31日時点)

公害健康被害補償法に基づき行政認定された水俣病の患者数は、熊本・鹿児島両県で累計2,284人（新潟県を含めると2,900人以上）現在、御存命中の患者数は約200名となっており、未だ認定審査待ちの方々が1,000人前後いらっしゃいます。また、水俣病特別措置法（2009年成立）などによる救済対象は全国で5万人以上に上ります。その一方で認定基準から漏れ、医療救済や補償を求める被害者は現在も各地で裁判や救済を求める活動が続いており、近年は被害の風化による差別の再燃が懸念されています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校] 託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴] 現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格] 宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター（相続対策専門士）・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士